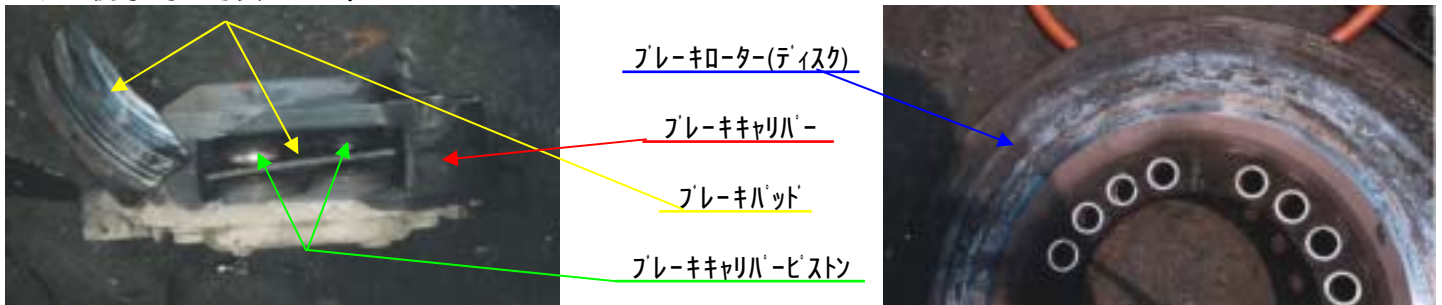


年度末を迎え機械も忙しく稼働している事と思います。忙しさにかまけて機械のメンテナンスを怠ってはいませんか？
このところ忙しかった事もあり、点検不足による故障車が多く入工しています。

そんな事もあり、今回は何度がこのニュースでも取り上げたブレーキパッドの話を再度ご紹介しようと思います。

ブレーキパッドの話(2)

まずは衝撃的な写真から....



それぞれの写真はブレーキパッドの残量点検を怠った為、各部が損傷・破損したものです。これは故障というより事故といったほうがよいと思います。写真のようになるまで使用した場合の部品代を算出してみましょう。

機種は25TON・損傷箇所は右前1輪・破損部品はブレーキキャリパーピストン全数・ブレーキローター・ブレーキパッドとします。

交換部品	個数	単価	金額
ブレーキパッド	2	約46,000	約92,000
ブレーキキャリパーピストン	8	約14,000	約112,000
ブレーキキャリパーシール	8	約17,000	約136,000
ブレーキローター(ディスク)	1	約78,000	約78,000
オイルシール・リング類	1式		約28,000
	合計		約446,000

1輪修理するのに部品代だけで、約¥446,000かかります。実際にはブレーキキャリパー8個壊れている例は少ないですがほぼ同様の部品代を覚悟しなければなりません。定期的にブレーキパッドの残量を点検しブレーキパッドだけを交換した場合黄色の部分の部品は必要なくなり約¥92,000ですみます。又交換工賃もブレーキパッドだけを交換した場合と破損した場合とは雲泥の差があります。
(部品価格はメーカーにより異なります。)

修理代が高いと嘆く前に、ブレーキパッドの残量点検がいかに必要かお分かりになったと思います。更に写真のような状態になると、**ブレーキオイルが漏れて無くなりノーブレーキ**の状態になり、事故を起こす危険性があります。十分注意が必要です。

ブレーキパッド残量点検方法

ブレーキパッドの残量点検は点検棒(ゲージ)を差し込む簡易的点検方法で十分です。是非行ってみてください。

点検前の注意事項

1. アトリガーを張り出して点検しますので、点検場所は水平堅土な場所で行ってください。
2. 車体の下側にもぐり点検をしますので汚れてもいい服装で行ってください。又点検中に操作をされると危険ですエンジンは停止しエンジンキーを抜いて点検者が保管し、運転席には点検中の表示などをしておくとよいと思います。
3. 走行直後はブレーキローターが熱くなっています。やけど等に十分注意してください。



点検棒(ゲージ)を用意してください。点検棒は機種により異なります。機種にあったものを使用してください。



水平堅土上にアトリガーを張り出してください。



エンジンを停止してキーを抜いてタイヤの裏側にもぐり込みます。



タイヤの裏側はこんな感じになっています。



判りづらいですが、ブレーキキャリパーの点検穴です。



点検穴に点検棒を奥まで差し込んでください。

点検棒(ゲージ)の端面がブレーキキャリパーに当たったら**使用限度**です。
国際サービスに直ぐ修理依頼をしてください！！

機種によっては、端面でなく印がついているものもあります。

取り扱い説明書を参照してください。

以上 ご不明な点、分からない事がありましたら国際サービスにご相談ください。
又メールでのお問い合わせはsuzuki@kokusai-s.co.jpまでお願いします。